経営データ科学特別学修プログラム（5年一貫）
（5年一貫DSP）
令和7年度　学生募集要項

趣旨

「経営データ科学特別学修プログラム」（以下「神戸経営DSP」という。）は、

「経営学の理論に基づき、データの意味を理解し、データを用いて理論を検証し、検証結果から実践的示唆を導き出せる人材を輩出することを目指したプログラム」

です。企業を含め、社会の様々な場面でデータを使って経営に役立てる分析を行うことのできる人材が求められています。このプログラムは、単にデータ分析ができるだけでなく、経営学を使ってデータを用いて経営を考えることのできる人材、具体的には

「経営学部・研究科出身だけれど自分でデータ分析を行って経営に活かすことができる」
「経営に必要な分析を設計し、高度なデータ分析能力を持つ理系人材に対して指示できる」
「データ分析に詳しくない人材とデータ分析に長けた人材の橋渡しを行う翻訳者となれる」

ような人材を輩出しようとするものです。

神戸経営DSPは、一般に経営学の科学的アプローチを基礎とするデータ分析・データサイエンスに必要と考えられる以下の能力を身に付けるための教育プログラムです。

[1]課題設定能力，[2]データ整備能力，[3]データ分析能力，[4]データ解釈能力

神戸経営DSPは、

「**経営データ科学特別学修プログラム（5年一貫）**」（以下「**5年一貫DSP**」という。）

とその構成要素である

「**経営データ科学特別学修プログラム（学部）**」（以下「**学部DSP**」という。）
「**経営データ科学特別学修プログラム（修士）**」（以下「**修士DSP**」という。）

から成りたっています。

5年一貫DSPは、神戸経営DSPの中心となるプログラムで、学部DSPと修士DSPを修了するとともに、学部を早期（3.5年間）で卒業し、博士前期課程を早期（1.5年間）で修了することで、高度なデータ分析を5年間で理解・実践し、企業等で活かすことのできる修士人材を養成するプログラムです。

（1）募集対象　経営学部3年生
（2）募集人数　10名程度　※申請者が多い場合は、学業成績を基に選考を行います。
（3）認定条件　経営学部の専門科目で3年生後期までに修得した単位のうち秀・優・良・可に占める秀・優の割合が1／2以上で、3年生後期までに学部DSPを修了していること。
（申請書提出時は、学部DSP修了見込でも可）
（4）申請期間　前期　令和7年8月1日（金）～8月19日（火）17時
後期　令和8年1月19日（月）～1月30日（金）17時
（5）提出書類　経営データ科学特別学修プログラム（5年一貫）申請書
（6）申込み先　経営学研究科教務グループ
（7）選考結果　令和8年3月17日（火）までに申請者本人に連絡します。